

地域交流サテライト実習（サテライト学修Ⅰ）

1
入門科目
サテライト学修Ⅰ
見る・知る
(1学年)



Force in
Agriculture
2014
農力

【目的】 農学が取り組むべき課題，すなわち，君たちが学び，そして研究すべきことは何か？ 様々な農林業生産現場、工場、研究所等の現場を体験し、地域における農学の必要性と使命を認識する。

【単位】 25プログラム（H26）の中からから3箇所以上のプログラムを選択、体験することにより1単位

※所属学科プログラム

+所属学科以外プログラム=3プログラム以上を選択

【対象】 主に1年生が履修

【期間】 5月～9月の土・日，夏期休暇に実施

1
見る・知る
入門科目 | 地域交流サテライト実習

1学年

2
基礎科目 | 基礎農力
観る・考える

2学年

3
実践科目 | インターンシップ
視る・働く

3学年

4
応用農力

4学年

新潟大学農学部の取組み(1学年)

産業界を支える多様な企業の理解

学生に、きらりと光る企業や団体の理解を深める取組を産学協働で実施。

地域交流サテライト実習(サテライト実習Ⅰ)の開発・充実・強化

地域交流サテライト実習
中堅中小企業訪問・見学



中堅中小企業マッチング
地元の企業訪問
見学ツアー企画

現場を知る
自分で知る
現場で感じる



新発見
感動を
伝える



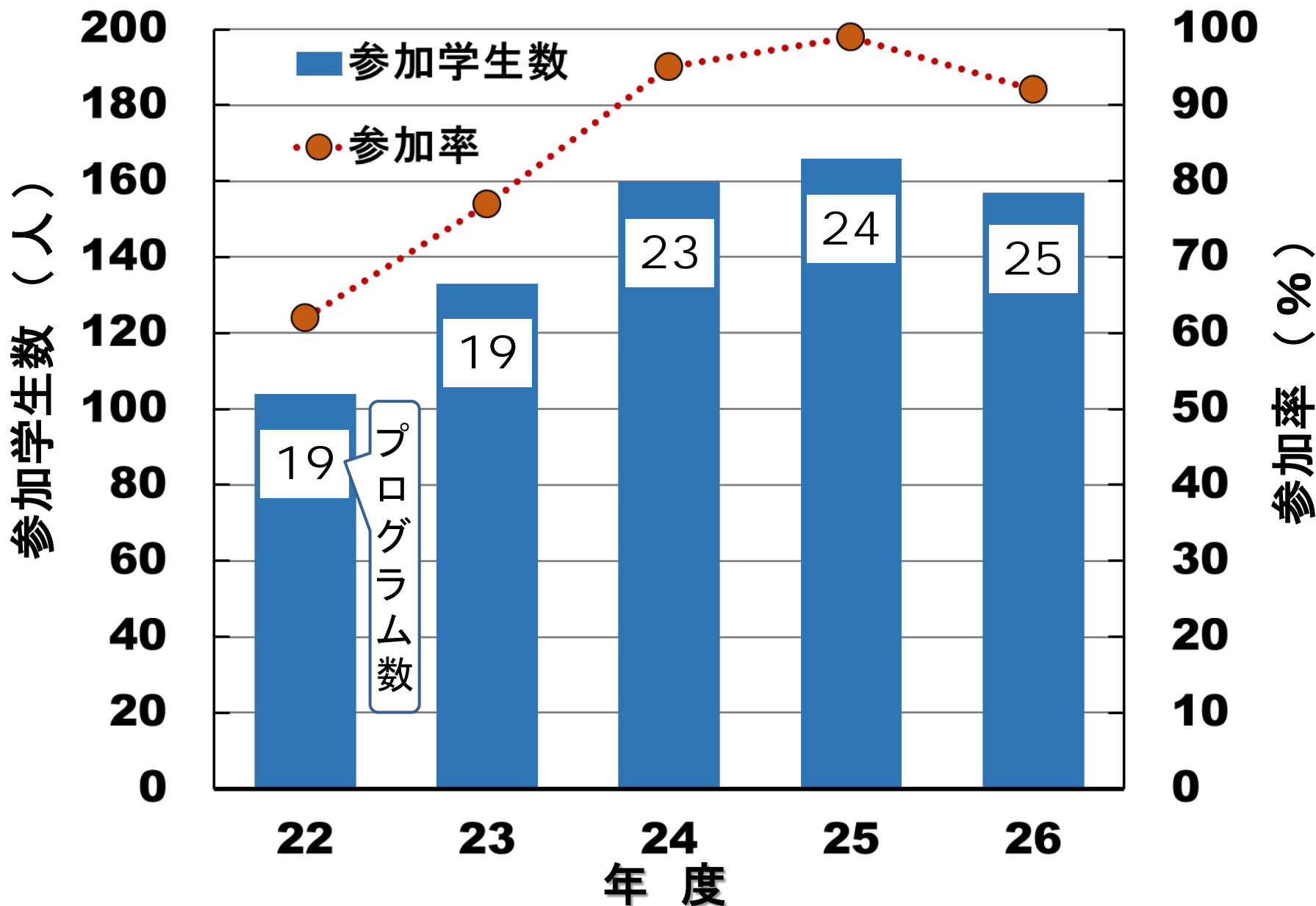
学業に意欲
キャリアの参考

特徴のある
地元の企業訪問



元気な会社
特徴のある会社
技術ある会社
得意分野
県内には該当
企業が多数

サテライト学修 I (地域交流サテライト実習)の 参加学生数及び参加率の推移



実務者による教育 基礎農力(サテライト学修Ⅱ)

2 入門科目
サテライト学修Ⅱ
観る・考える
(2学年)



Force in Agriculture
農力
2014

【目的】 理論に加えて実社会とのつながりを意識した教育を、産業界より講師を招き、職業意識や勤労観醸成に役立つプログラムとして、産学協働で実施する。

【単位】 1単位

【対象】 2年生履修

【期間】 9月集中講義



1 見る・知る
入門科目 | 地域交流サテライト実習

1学年

2 基礎科目 | 基礎農力
観る・考える

2学年

3 実践科目 | インターンシップ
視る・働く

3学年

4 発展科目 | 応用農力
診る・挑む

4学年

新潟大学農学部の実践 2学年

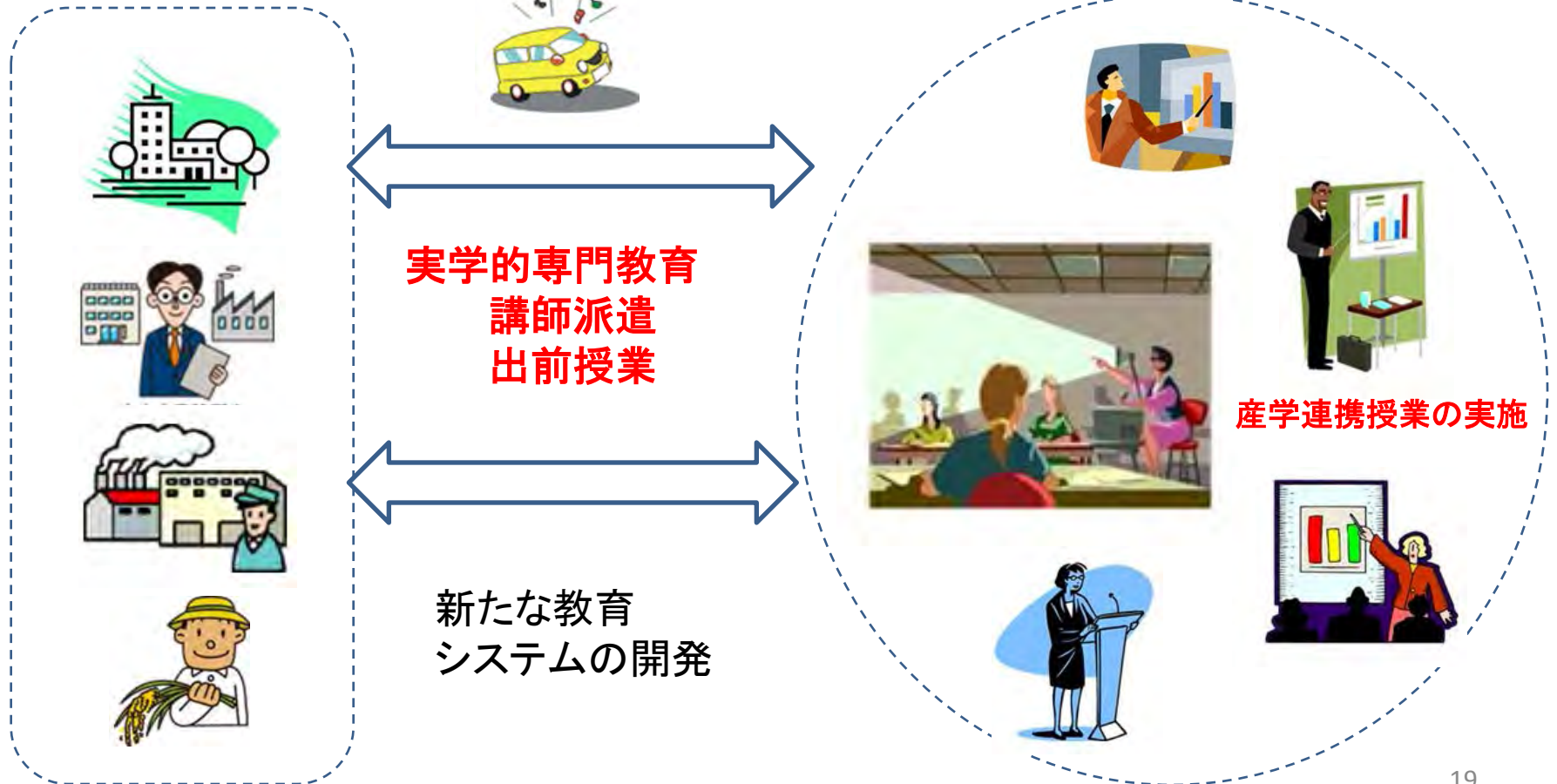
実務者による
教育の実施

理論に加えて実社会とのつながりを意識した教育を実施し、
職業意識や勤労観醸成に役立つプログラムを産学協働で開発。

産業界のニーズに対応

産業界

大学



平成26年度 計画

実務者による教育「基礎農力」

開講日：平成26年9月25日(木)、26日(金) 大会議室

新潟県内トップランナーの講演とディスカッション



講師(事業所)	題名(仮)
大潟ナショナルカントリー(農業法人)	ゆとりある経営からはじめて 地域との信頼で規模拡大
佐藤食品工業株式会社	業界に関する講演にプラス 商品開発者が語る開発業務とは(仮)
株式会社 建設技術研究所	コンサルする 自然環境の保全をめざして
有限会社 カガヤキ農園	情報技術(IT)使って経営を伸ばす 経営管理とお客との交流販売
デンカ生研株式会社	人の健康を支える ワクチンから検査試薬まで
三幸製菓株式会社	米菓王国にいがたの歴史と 業界拡大の取り組みについて(仮)
新潟県庁農林水産部	行政は応える 森林を育てよう 県産材を活かそう
ウォーターセル株式会社	農業支援システム「アグリノート」で 勘より記録を活かすクラウドシステム(仮)

各学科コースインターンシップ (サテライト学修Ⅲ)

体験型 & PBL(課題解決型)インターンシップ



【目的】 実際の農林業や関連産業の現場で現地研修を受け、それらに対する理解を深める。そして将来、どのようなかたちで地域に貢献できるか具体的に考える。

【単位】 おおむね2週間の現地研修とレポートにより2単位。

【対象】 主に3年生が履修

【期間】 主に8月～9月に現地研修

1 見る・知る
入門科目 | 地域交流サテライト実習

1学年

2 基礎科目 | 基礎農力
観る・考える

2学年

3 実践科目 | インターンシップ
見る・働く

3学年

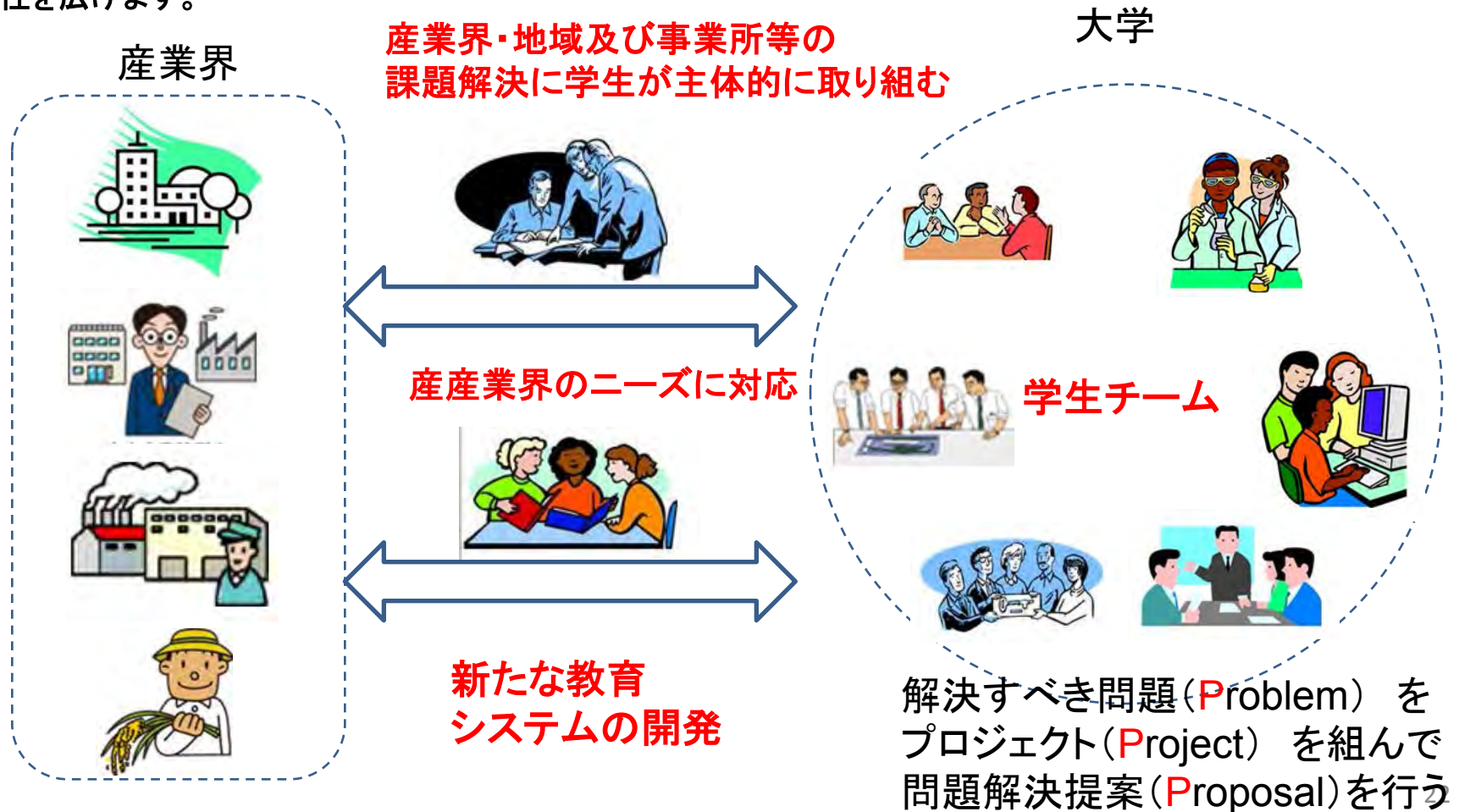
4 発展科目 | 応用農力
診る・挑む

4学年

新潟大学農学部 3 学年

実践的なインターンシップ(取組→PBL課題解決型)インターンシップ

PBL (Project-Based Learning) とは、和訳では「課題解決型学習」であり、30年ほど前に北米カナダで始められた形態のことです。インターンシップ受け入れ先の、産業界や地域や事業所からの課題解決に向かって、学生が主体的・自主的に学習して取り組みます。最終日にはインターンシップ先で課題に対する提案を行います。インターンシップを通して、企画提案力、プレゼン能力、コミュニケーション能力など就業力を高める可能性を広げます。



「就業体験」と「体験モデル企画提案」にTRY



食育チーム発表



花育チーム発表



動物チーム発表



発表会の写真

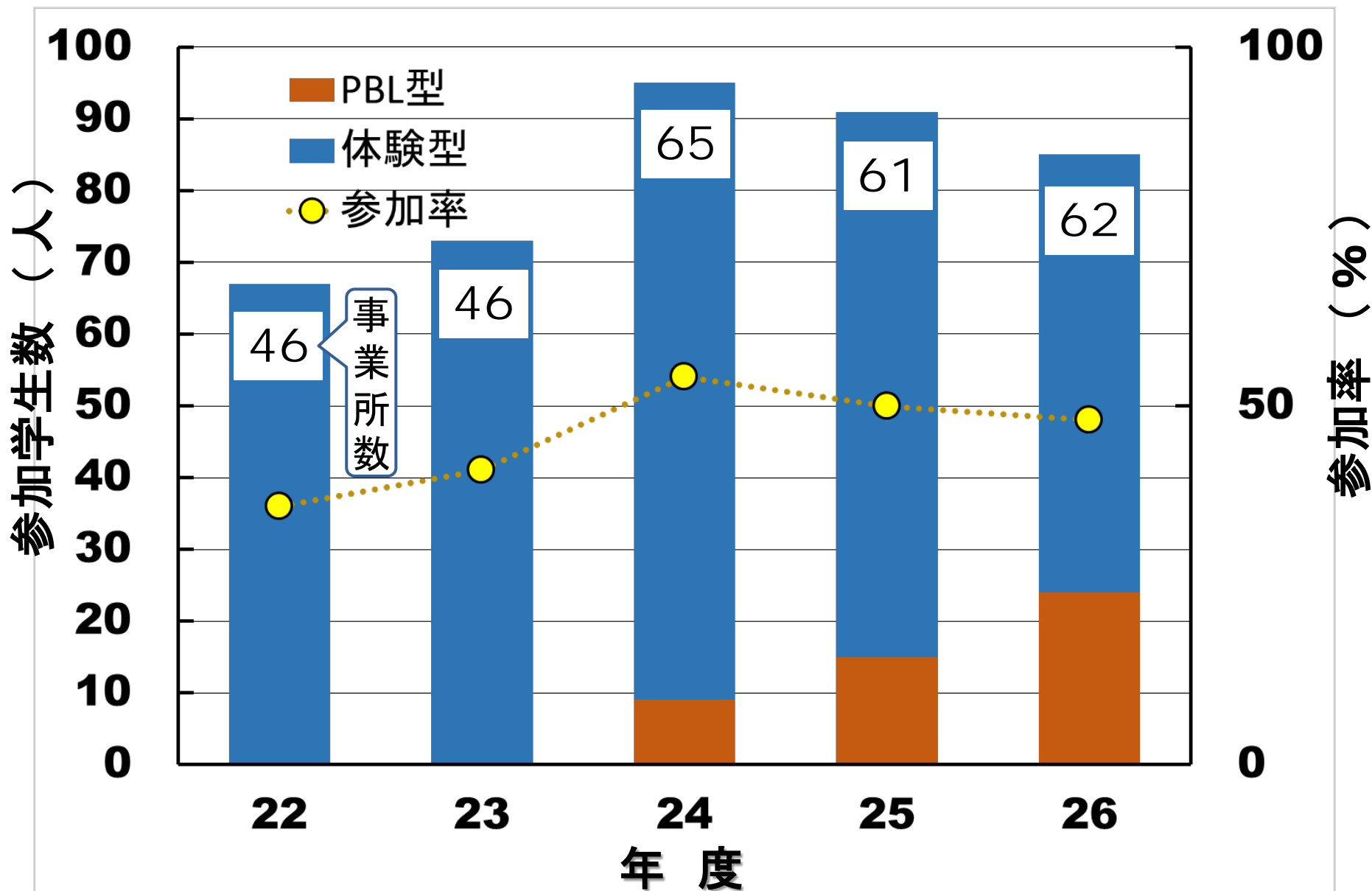


職員からのコメント



全員で御礼

サテライト学修Ⅲ(各学科インターンシップ)の 参加学生数及び参加率の推移



実務者による教育 応用農力(サテライト学修Ⅳ)



【目的】 理論に加えて実社会とのつながりを意識した教育を、産業界・行政より講師を招き、職業意識や勤労観醸成に役立つプログラムとして産学協働で実施する。あわせてチームで産業界・地域及び事業所等の課題解決について、主体的に取り組み、提案をすることにより、実践的課題探求・問題解決能力を向上させる。

【単位】 1単位

【対象】 主に4年生履修

【期間】 後期集中講義

1 見る・知る
入門科目 | 地域交流サテライト実習

2 基礎科目 | 基礎農力
観る・考える

3 実践科目 | インターンシップ
視る・働く

4 発展科目 | 応用農力
診る・挑む

「 $1 \times 2 \times 3 = 6$ のビジネス」を学生チームPJで考えよう

実務者による教育 応用農力 On Campus PBL型インターンシップ

外部講師



- ・農業現状と課題講演
- ・6次産業化講演

課題提起



学生チームPJで検討



テーマを決め
課題を検討

解決策発表



実務者による教育 応用農力(サテライト学修IV)

応用農力

- ▶ 様々な制約条件下で解を見出す能力
- ▶ コミュニケーション能力
- ▶ チームワーク力
- ▶ 大学院プログラムへの接続

H20 組織的な大学院教育改革推進プログラム
食づくり実践型
農と食のスペシャリスト養成プログラム

- ▶ 創造力
- ▶ 種々の知識, 技術の総合応用能力

卒業論文

- ▶ 課題設定力
- ▶ 構想力
- ▶ 構想したものを
図, 文章, 式, プログラム等で表現する能力
- ▶ 継続的に計画し, 実施する能力

農と食のスペシャリスト養成プログラム



農力開発プログラムの概要

1

入門科目

見る・知る

(1学年)

地域交流サテライト実習

3day インターンシップ

2

基礎科目

サテライト実習Ⅱ

観る・考える

(2学年)

基礎農力 (実務者による教育)

On Campus インターンシップ

3

実践科目

サテライト実習Ⅲ

視る・働く

(3学年)

各学科インターンシップ

PBL型・体験型インターンシップ

4

発展科目

診る・挑む

(4学年)

応用農力 (実務者による教育)

On Campus

+ PBL型インターンシップ